

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0471

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)										
事業名	学者・教職員等の交流			担当部局	大臣官房国際課							
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	大臣官房国際課 大臣官房国際課長 北山 浩士							
会計区分	一般会計											
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	「日韓共同宣言-21世紀に向けた新たな日韓パートナーシップ-」(平成10年) 「日中韓三国間協力ビジョン2020」(平成22年) 「国際交流政策懇談会 最終報告書」(平成23年) 「日中教育交流5ヵ年計画(2018年-2022年)」(平成30年)							
政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進			主要経費	その他の事項経費							
施策	13-1 国際交流の推進											
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf											
事業の目的(5行程度以内)	諸外国と我が国の学者・専門家、行政官及び教職員等が相互交流を通じて、互いの連携・協力の強化、相互理解の増進・友好親善関係の構築を図るとともに、諸外国との優良事例の共有を通じて、我が国の教育の質の更なる向上を図る。											
現状・課題(5行程度以内)	新型コロナウイルス感染症の拡大時は交流が一時的に完全に停止したことにより、諸外国との交流実績が落ち込み、令和4年度以降は日本からの派遣数は復活しつつあるが、諸外国からの招へいは復活できていない。学者・専門家、行政官、教職員等を通じ、諸外国の教育現場や日本の学校現場を理解し、学び合うことは国際交流・協力の観点からも重要であるため、招へい数の回復を課題とし、活発な交流を推進する必要がある。											
事業概要(5行程度以内)	諸外国の学者・専門家、行政官、教職員等を我が国に招へいし、また我が国からもこれらの者を諸外国に派遣し、学校現場・教育等関係施設の訪問、講演会等への参加、互いの国の教育事情・教育政策等に関する講義、相互の意見交換等を実施する。											
事業概要URL												
実施方法	直接実施、委託・請負											
補助率等												
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	129.3	令和3年度	49.2	令和4年度	45.6	令和5年度	44.7	令和6年度要求	80
		補正予算(B)		-		▲0.4		-		-		
		前年度から繰越し(C)		-		-		-		-		-
		翌年度へ繰越し(D)		-		-		-		-		-
		予備費等(E)		-		▲1		-		-		-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)		129.3		47.8		45.6		44.7		80
		執行額(G)		76		7		10				
執行率(%) =(G)/(F)		59%		15%		22%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		59%		14%		22%						
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)							
	(項)	国際交流・協力推進費			外国政府から行政官の交流人数について増加の要望があり、概算要求では旅費と滞在費を増額している。							
	(目)	教員等派遣旅費	30	30								
	(目)	職員旅費	6	34								
	(目)	委員等旅費	4	4								
	(目)	庁費	2	2								
	(目)	招へい外国人滞在費	2	9								
	(目)	外国人招へい旅費	2	1								
	(目)	その他	0									
	計(A)	44.7	80									

活動内容① (アクティビティ)	諸外国と我が国の学者・専門家、行政官、教職員等の交流を実施する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	学者・専門官、行政官、教職員等の交流の実施	交流件数	活動実績	件	130	99	367	-	-	
当初見込み			件	435	80	90	250	280		
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	学者・専門官、行政官、教職員等の交流の場において、多くの国との交流や繋がりが生まれ、日本の教育現場の優良事例や取組、問題点等を共有することが出来るようになり、より多くの諸外国と新しい交流が実施される。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
	諸外国の交流の実施	交流国数	成果実績	カ国	-	-	177	-		
			目標値	カ国	-	-	-	250		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	国際会議概要									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	多くの諸外国と意見交換を実施することで、より具体的に日本が各国と交流・協力すべき分野が特定され、政府間の覚書の策定など効果的な連携の強化に繋がる。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
	諸外国政府教育等関係機関との連携・協力の強化	諸外国政府教育等関係機関と締結した覚書数	成果実績	件	36	37	-	-		
			目標値	件	40	40	40	40		
達成度			%	90	92.5	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	覚書締結実績									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称									
	URL									
	該当箇所									

文部科学省
9.2百万円

旅費 8.9百万円

↓
随意契約(少額)

A.株式会社 0.1百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	庁費	通訳業務	0.1				
計		0.1	計				
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)	
1	株式会社サイマル・インター ナショナル	6010001109206	通訳業務	0.1	随意契約(少 額)	-	100%	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック	